

令和4年度 伊勢地域公共交通会議 第1回 議事要旨

■開催概要

日時：令和4年6月10日（金） 9時30分～12時30分

場所：伊勢市役所 本館 3階 委員会室

出席者：全22名

学識経験者

1名（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

市民代表 3名

一般乗合旅客自動車運送事業者

3名（三重交通株式会社バス営業部部長（乗合）、
三重県タクシー協会専務理事、
三重県タクシー協会伊勢志摩支部長）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1名（三交伊勢志摩交通労働組合 執行委員長）

鉄道事業者

1名（近畿日本鉄道株式会社 宇治山田駅長（代理））

中部運輸局三重運輸支局

1名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署

1名（交通第一課長）

三重県 2名（地域連携部交通政策課長（代理）、

伊勢建設事務所総務管理室管理課長）

伊勢市 1名（市長）

事務局

8名（伊勢市都市整備部長、同都市整備部交通政策課、同健康福祉部福祉生活相談センター、同産業観光部観光振興課、同教育委員会事務局教育総務課）

■議事内容

地域公共交通会議の運営方法等について、中部運輸局三重運輸支局より資料を用いて説明。

■ 議案第1号 令和3年度 事業報告について

■ 議案第2号 令和3年度 事業収支決算（案）について

事務局より、令和3年度事業報告および事業収支決算（案）について、資料を用いて説明。

令和3年度事業報告および事業収支決算（案）について、原案どおり承認をいただいた。

■ 議案第3号 令和4年度 事業計画（案）について

■ 議案第4号 令和4年度 事業収支予算（案）について

事務局より、令和4年度事業計画（案）および事業収支予算（案）について、資料を用いて説明。

利用者の減少が大きい所、利用につながっていない路線をテコ入れすることを考えておいたほうがよい。特に利用が少ない路線は地域の人に状況を知ってもらう必要がある。高校生や車を運転できない層にアピールするため、高校や近隣自治体と連携するなど一つの方法である。（学識経験者）

自動運転バスの実証実験運行について、どのように導入するのか、導入する目的や方向性も含めて考えていただけると受け入れやすい。（市民代表）

ボンネットバスの企画で、せっかく里帰りをするならバスだけではない交流を出来たら良いと思った。（市民代表）

⇒今年度予定している、利用促進の企画について、LINE等のSNSで広報を出来ないかと考えている。一方でSNSを利用しない方にも周知できる紙媒体の広報も考えていきたい。（事務局）

時刻表のサイズをA4にすると文字のサイズやコストはどうか？（市民代表）

大きいサイズの時刻表作成も検討すべき。（市長）

バスより利用者の多い「近鉄」や「JR」の欄を時刻表の前の方に持ってくることで、鉄道の時刻表も載っていることのアピールになり、より時刻表を大事にもらえると思った。（市民代表）

時刻表が中途半端なサイズで字が小さい。通常これより大きいサイズか小さいサイズが多い。路線図と一覧からスマホでQRコードの読み取りが出来るようにすれば良いのではないかな。全戸配布するなら、壁に貼れるような路線図や一覧を配布したら良いのではないかな。三重交通の路線バスのページで、市民向けなら「内宮前」「外宮前」より「伊勢病院」や「ララパーク」などの方が良いのではないかな。次回発行する際は、タクシー会社の情報、乗り場を載せたページを追加したら良いのではないかな。（学識経験者）

公共交通という言葉が普段使わないのでピンとこない。ネーミングに問題があるのでは？（市民代表）

自治体によっては、「お出かけシステム」などと呼ばれている。（学識経験者）

CANバスについて聞かれることが多いが、時刻表にCANバスの記載がされていない。（市民代表）

一度時刻表のデザイン案のコンペを開催してみてもどうか（市長）

⇒令和5年度版は時刻表のリニューアル、全戸配布に対する意見、A4サイズ時刻表の作成等、様々な内容を検討したい。（事務局）

令和4年度事業計画（案）および事業収支予算（案）について、原案どおり承認をいただいた。

■ 議案第5号 生活交通確保維持改善計画の令和5年度認定申請について

事務局より資料を用いて説明。

意見等なし。

生活交通確保維持改善計画の令和5年認定申請について、原案どおり承認をいただいた。

■ 議案第6号 コミュニティバスのダイヤ等の一部改正について

事務局より資料を用いて説明。

新設のバス停の開花橋、沼木神社北等のバス停は私有地に設置するのか？（三重運輸支局）

⇒上野南、開花橋については、三重交通のバス停と同じ位置の県道沿いに設置する。
沼木神社北、宮川パーク北については、設置場所が宮川パークランドの私有地となり、
宮川パークランドの管理人へは設置の了承を得ている。（事務局）

コミュニティバスのダイヤ等の一部改正について、原案どおり承認をいただいた。

■ その他について

・外部支援モデル事業おたすけタクシーについて、事務局より資料を用いて説明。

早修地域と修道地域について、どのような地域か教えてほしい。
モデル事業をした後でどういう展開を考えているのか教えてほしい。（三重県）

⇒早修地域、修道地域の中でも一部分の地域を対象に昨年度からモデル事業を実施している。
市内でもいくつかの場所があるが、たくさんの方がお住まいで、土地の高低差があることによっ
て、平坦な土地であれば歩いていくことができる方でも、結果的にはバス停に行くまでに山に登
ったり、坂を下ったりということで、中々公共交通機関にたどり着くのが難しいのではないかと
いうふうを考えられた地域を対象に支援している。
今後の展開に関しては、昨年度の利用実績から比べて、今年度はより利用しやすい方法に変えた
中で、どのくらいの方が通常のタクシーと同様の利用の仕方を利用していただけなのか、そして、
地域を限定した中であるが、障がい者の方にも対象者を広げたということで、市内でもどのくら
いの需要が見込まれるのかということも加味しながら、来年度以降それが本当に多くの市民、地
域全体の外出支援になるのかということを検討していきたいと考えている。（事務局）

・自動運転バスの実用化について、事務局、BOLDLY(株)より資料を用いて説明。

前に人がいた場合どのくらいから感知するのか？（市民代表）

⇒センサーとして、60m先まで見ている。60m先に人がいた場合、ゆっくり減速していき3m手前
で止まる。3mより近くにいたら急停車というかたちで止まる。サイドにもセンサーが付いている。
（BOLDLY(株)）

地域との連携と実証実験する前にレクチャーや広報等をしていただき、町の風紀、ルートが本当
に良いのか？というところから参入していただければありがたい。（市民代表）

以上